

オギノ、米福と提携

人気の米飯製品を確保

スーパーのオギノ（本部・甲府市徳行1丁目、荻野寛二社長）は13日、米穀販売の米福（笛吹市石和町唐柏、五味礼治社長）と、消費者への米飯製品の安定提供を目的とした包括的業務委託契約を結んだ。

オギノによると、近年は食の簡便化が進み、おにぎりやいなりずしの人気が高まっていて、「近い将来、自社製品

だけでは賅えなくなる状況」
（担当者）。消費者への商品の安定提供のため、米福から米飯製品の供給を受ける契約を結ぶことにした。

米福はオギノが販売する米飯製品を365日体制で製造し、1日3便でオギノ各店舗に供給する。契約締結により、オギノ側は商品確保と自社製品の製造コスト抑制に、米福側は安定的な大口契約成立



に、それぞれつながるといふ。この日は米福の子会社である「おむすびファーム」の米飯加工センター（同市石和町唐柏）の竣工式に合わせて、

契約書に署名する米福の五味礼治社長とオギノの荻野寛二社長（左）

＝笛吹市石和町唐柏

同センターで契約締結式が行われ、荻野社長と五味社長が契約書に署名した。

荻野社長はあいさつで「米福とタッグを組み、お客さまに良い商品をお届けしていきたい」と述べた。（小池直輝）